

「国語」・「算数」・「理科」の力と学習の様子

～『R7 全国学力・学習状況調査』から～

今年度は、国語、算数、理科の調査が行われました。どの教科からも、学校での授業の工夫や家庭での学習の様子がうかがえました。

🌸は良いところ ➡は伸ばしたいと

【国語】

- ① 学習指導要領の内容における結果 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の6つの内容からの出題でした。

🌸・・・「書くこと」において、全国・県の平均正答率を上回っています。
「情報の扱い方に関する事項」において全国の平均正答率を上回っています。

➡・・・「話すこと・聞くこと」の領域において、以下の③のような課題が見られました。

【国語の平均正答率】

全国、県、本市の比較位置

◆福井県

■全国66.8

●越前市

全国の平均とほぼ同じでした。

- ② 特に正答率の高かった問題

🌸・・・「話すこと・聞くこと」において、「自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる」問題では、全国平均を超える正答率でした。相手の発言の目的を理解しながら対話を進めることができる児童が多いと考えられます。

🌸・・・「書くこと」において、「各内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章校正をすることができるかどうかをみる」問題では、全国平均・県平均を超える正答率でした。

- ③ 課題

➡・・・「話すこと・聞くこと」において、「話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」問題に課題が見られます。話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめるためには、話し手の考えと自分の考えとを比較して共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめること、また、自分が知りたい内容に関する言葉を取り上げ、更に質問しながら理解を深め、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめていけるようにすることが重要です。

【算数】

- ① 学習指導要領の領域における結果 「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」「測定」の5つの領域からの出題でした。

❁…「図形」「測定」「変化と関係」の領域において、全国の平均正答率を上回っています。特に「測定」の領域において、全国の平均正答率を大きく上回っています。

➡…「数と計算」の領域において、以下の③のような課題が見られました。

【算数の平均正答率】

全国、県、本市の比較位置

◆福井県

■全国 58.0

●越前市

全国の平均とほぼ同じでした。

- ② 特に正答率の高かった問題

❁…「測定」の領域の「はかりの目盛りを読む」問題がよくできています。

はかりの目盛りを読む際、最小目盛りの大きさを捉えたり、大きな目盛りからおよその重さを捉え、小さな目盛りと組み合わせて正確に読み取ったりすることができています。

❁…「数と計算」「データ活用」の領域の「棒グラフから、項目間の関係を読み取る」問題がよくできています。目盛りの数を読み取って計算したり、棒の長さに着目して、数量の大きさの違いを捉えたりすることができています。

- ③ 課題

➡…「数と計算」の領域において、分数の表し方の仕組みや単位分数に着目したり、共通する単位を見い出して計算の仕方を考察したりすることに課題が見られました。分数の加減法においては、単位分数のいくつ分という見方によって簡単な整数の計算に帰着できることに気づくことが大切です。また、小数や整数の加減法においても同様の考え方であることについて理解を深めることができるよう、学年に応じて統合的・発展的に考察する活動を充実させていくことが重要です。

【理科】

- ① 学習指導要領の領域における結果 「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とする4つの領域からの出題でした。

❁…すべての領域において、全国の平均正答率を上回っています。特に「生命」を柱とする領域では、全国の平均正答率を大きく上回っています。

➡…「図形」領域において、以下の③のような課題が見られました。

全国、県、本市の比較位置

◆福井県

●越前市

■全国 57.1

全国の平均を上回り、
県とほぼ同じでした。

- ② 特に正答率の高かった問題

❁…「粒子」を柱とする領域の「水の温まり方について、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現する」問題がよくできています。計画した実験方法が予想したことを確かめられるものになっているかを検討することができています。

❁…「生命」を柱とする領域において、「ヘチマの部位や、花粉がめしべの先につく事象」に関する問題がよくできています。ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身についています。

➡…「エネルギー」を柱とする領域において、乾電池の直列つなぎの特徴や、並列つなぎの特徴と図を関連付けて捉えることに課題が見られました。ものづくりの活動等において、できた装置を言葉や図で表現したり、言葉や図から装置を再構成したりするなどして、学習を通して得た知識の理解を深めることが大切です。